

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
〒101 東京都千代田区西神田2-8-7 (幅ビル)
☎03(3262)2426・2932
振替 (東京) 6-36337

平成6年度修学旅行の 連合体輸送計画決まる

—関東・東海・近畿三地区中学校—

人員の減少傾向続く

平成6年度の中学校連合体修学旅行については、関東・東海・近畿の三地区で輸送計画が決定した。生徒数は相変わらず減少傾向が続き、三地区合計で平成5年度より約二万五千人の減少となっている。

関東地区中学校修学旅行委

関東地区公立中学校修学旅行委員会は、全国のトップを切って昨年十一月二十四日、平成6年度の輸送計画を発表した。

学校数は七九八校、人員は一六二、六四八人で、平成5年度より七校・七、六四一人減少した。方面別では関西七〇校・二五八、

われらの信条
★ われわれは教育を熱愛し、友愛と信義を基盤とする同志的組織のもとに団結する。
★ われわれは全修協創設の精神にのっとり、公益法人として、児童生徒の幸福のために挺身する。
★ われわれは修学旅行の改善向上に邁進し、我が国の教育振興に寄与する。

日当たり八百人を五百人と、第六回研究協議会では、実施時期の平準化を図る。また、二月十六日開催の意見交換会を行った。

東海三県中学校修学旅行委

東海三県中学校修学旅行委員会は、二月九日名古屋ターミナルホテルにおいて、柳澤伸郎委員長ほか愛知・岐阜・三重各委員十名、J.R.東海運輸営業部長・斎藤謙長ほか七名で平成四年度第四回委員会を開催した。

主な議事は、平成四年度修学旅行終了に伴う利用概況報告と、平成六年度修学旅行輸送計画の審議で、去

は五三三校、人員一〇九、七九九人で、平成五年度より八、一〇〇人減となる。永年親しまれてきた「こまどり号」は、姿を消すことになった。

近畿中学校修学旅行委

近畿中学校修学旅行委員会は、二月九日、平成六年度修学旅行輸送計画のための抽選会を行い、申込校の乗車日を決定、各学校に通知した。

平成6年度方面別申込数

方面	学校数	人数
A 関東	218 (-22)	37,748 (-7,158)
B 信州・北陸	95 (-6)	20,039 (-2,805)
C 中国	47 (-1)	10,562 (-980)
D 九州	318 (+26)	69,460 (+1,856)
合計	678 (-3)	137,809 (-9,087)

()内は対前年増減

方面別列車利用期間

コース・日数	期 間
A1, B2 (定期) 25	5/7-5/31
A2, B3 (専用) 23	5/15-6/6
A3, B4 (定期) 4	5/7-5/10
A4 (定期) 13	5/7-5/20
A5 (定期) 3	5/21-5/22
B1 (専用) 9	5/15-5/17
B5 (新幹線) 21	5/9-6/13 の月-木
B6 (専用) 23	5/15-6/6
B7A (陸中) 4	6/7-6/10
B7B (中陸) 3	6/7-6/9
C1, D1 (専用) 8	4/18-4/25 4/25-6/20 (D4 設定日を除く)
C2, D2 (定期) 19	5/9-5/27
C3, D3 (定期) 43	5/15-6/26
D4 (専用) 5	5/28, 30 6/1, 3, 5
C5 (定期) 1	5/26
D5 (船導) 1	5/28
D6 (D1, 長崎) 5	6/16-6/20

主張

JRダイヤ改正と修学旅行

広報委員 中島和友

JRグループは毎年春に全国規模のダイヤ改正を行っており、今年三月十八日に実施される。今回の最大の改正点は、東海道・山陽新幹線「のぞみ」の大増発と博多延長で、東京・博多間を二時間間隔で運転、所要時間は五時間四分と、現在の「ひかり」より四十八分短縮される。また、四国では予讃線松山電化が完成し、岡山・松山間に新形特急電車が登場、岡山・「のぞみ」に接続する。このほか各地でダイヤの改正が実施されるが、禁煙車・禁煙駅の拡大、東京・九州間寝台特急の食堂車営業中止なども行われる。

旅客のニーズに合わせ、高速、快適への改善が進められることはまことに喜ばしいが、修学旅行団体にとっては「ひかり」七本、「のぞみ」三本の「一七三ダイヤ」となる。この改正で「のぞみ」一本は「ひかり」七本、「のぞみ」三本の「一七三ダイヤ」となる。一時間隔の運行列車は現在「ひかり」八本、「のぞみ」三本の「一七三ダイヤ」となる。この改正で「のぞみ」一本は「ひかり」七本、「のぞみ」三本の「一七三ダイヤ」となる。

三ダイヤとなる。一時間隔の運行列車は現在「ひかり」八本、

「旅は阿蘇山 焼く頃と云はる」江子。三月半ば、阿蘇の草原で野焼きが行われる。草の芽の出が良く、害虫駆除にもなり、牛馬の放牧に効果があるためだ。昔ながらの阿蘇の野焼きは、春の到来を告げるものだが、昨今、春一番も話題になる。太平洋側の地域では、今年二月六・七日に訪れた。例年より半月以上も早く、人々の心は浮き立った。春一番武蔵野の池波あけて「秋桜子」三月の声を聞くと、東大寺二月堂のお水取りだ。十二日がそのクライマックス。大松明をかかげた僧たちが二月堂の舞台を駆け抜け、その後、舞台下の若狭井から本尊に供える水を汲みあげる。古都の伝統行事に魅せられる人も多い。水とりや水取の僧の音「芭蕉」お水取りが済まない本格的な春が来ない。関西の人は言うが、信濃の国は春はまだ遠い。「春めくや敷ありて雪ありて雪」一茶。柏原に生まれ育った彼は、遅い春の訪れを待ちわびた人だ。藪がけのあちこちに雪は残るが、それでも、そこまで来ている春に心をときめかす雪国の情景が目につく。「菜の花や月は東に日は西に」蕪村。今年のJRのカレンダーは、二月に開闢岳と一面の菜の花を配した。早春に明るい希望を乗せて人の心は弾む。日に日に春は長くなり、陽光は暖かさを増す。旅にとって春は絶好の季節。古都に山国に南国に。各地に向けて、今年の修学旅行も間もなく始まる。

信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いつつも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

ツーリストの修学旅行。

近畿日本ツーリスト 本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2
支店/国内250店(登録)/海外15店 ©運輸大臣登録一般旅行業第20号

三点目の危機は、新しい「生き方」を考え始めたとき、教育課題の一つとして、生き方の基礎ともなるべき「人間としての生き方」に価値観の形成が始まる。その間の教育の充実である。こうした子供たちの発達課題二年が経過しても、特別活動の達成への援助が、「生き方」に関する教育である。この青年期の発達課題をいかに克服していかねばならないか、私達自身で考え、判断し、行動することが出来る主体としての成長していく。この子供たちの自立(自律)への援助が、「生き方」の教育である。

第9回全国修学旅行研究大会 講演要旨

(11月27日 神戸市総合教育センター)

特別活動における修学旅行の意義 (3)

文部省初等中等教育局

教科調査官 鹿嶋 研之助



配流の島 隠岐 (下)

高田 治郎

島抜け。島の生活に辛抱り、島抜けには条件がそろがしきれなくなったり、望郷の念にかられて島を抜け出す者も多かったと思われ、その記録がない。当時、役人が庄屋と相談して病死したなど適当な理由を付けて始末を付けたらしい。隠岐は他の流人島と異な

な場として、特別活動の役割・実践的な活動である。達成が期待されている。自主的・実践的活動、体験的な活動として、大いに子供たちの活動を指導、援助していく過程で、特別活動が「生き方」の教育の中心となるのである。子供たちの自主的・実践的な活動が学校の中だけに限らず、学校の門を開いて、もっと広い場で様々な経験

をすすめることが十分に行われているか。こうした点にも危機的意識がある。また、今次、学級指導と学級会活動が統合されて学級活動となった。これまでどちらかといえば、学級指導は先生中心、学級会活動は生徒中心というように、誤解され色分けされてきた感じが、両者を学級活動に統合し、生徒の自主

を残すはずがないのである。隠岐には島抜けの成功も未遂の記録もないところである。伊豆諸島の場合は飢饉に堪えられず、数十人の流人が一度に島抜け未遂の記録があるが、隠岐にはない。後鳥羽上皇の配流は承久三年八月の台風の手を経て荒れた。有名な「我が新島守よ隠岐の海を荒き波風心して吹け」は船中の黒木御所の二説があり、両方とも見たが島民は黒木御

所を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

修学旅行の在り方を考える上で大切な三つ目は、生徒の自主的・実践的な活動を助長し、生徒との信頼関係を築くことが大切であるという認識を新たにしていきたい。

三年として、特別活動の精選に関連し、これまで作成する過程で集団活動の結論として、修学旅行が精選できる学校行事ではないかと、興を成功させたのである。隠岐の両島は大山とも国立公園であり、日本海山である別府を選び、監視のために山を、隠岐判官の左々木家が守り、海は見付島があつて常に警戒していたと言われる。

天皇の脱出は、一か年掛つて計画され、豪族近藤一族や村上家や多くの山伏たち、また伯耆の名和恵四郎泰長らとの連絡により世紀の脱出に成功して建武の中

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

修学旅行の在り方を考える上で大切な三つ目は、生徒の自主的・実践的な活動を助長し、生徒との信頼関係を築くことが大切であるという認識を新たにしていきたい。

三年として、特別活動の精選に関連し、これまで作成する過程で集団活動の結論として、修学旅行が精選できる学校行事ではないかと、興を成功させたのである。隠岐の両島は大山とも国立公園であり、日本海山である別府を選び、監視のために山を、隠岐判官の左々木家が守り、海は見付島があつて常に警戒していたと言われる。

天皇の脱出は、一か年掛つて計画され、豪族近藤一族や村上家や多くの山伏たち、また伯耆の名和恵四郎泰長らとの連絡により世紀の脱出に成功して建武の中

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

修学旅行の在り方を考える上で大切な三つ目は、生徒の自主的・実践的な活動を助長し、生徒との信頼関係を築くことが大切であるという認識を新たにしていきたい。

三年として、特別活動の精選に関連し、これまで作成する過程で集団活動の結論として、修学旅行が精選できる学校行事ではないかと、興を成功させたのである。隠岐の両島は大山とも国立公園であり、日本海山である別府を選び、監視のために山を、隠岐判官の左々木家が守り、海は見付島があつて常に警戒していたと言われる。

天皇の脱出は、一か年掛つて計画され、豪族近藤一族や村上家や多くの山伏たち、また伯耆の名和恵四郎泰長らとの連絡により世紀の脱出に成功して建武の中

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

修学旅行の在り方を考える上で大切な三つ目は、生徒の自主的・実践的な活動を助長し、生徒との信頼関係を築くことが大切であるという認識を新たにしていきたい。

三年として、特別活動の精選に関連し、これまで作成する過程で集団活動の結論として、修学旅行が精選できる学校行事ではないかと、興を成功させたのである。隠岐の両島は大山とも国立公園であり、日本海山である別府を選び、監視のために山を、隠岐判官の左々木家が守り、海は見付島があつて常に警戒していたと言われる。

天皇の脱出は、一か年掛つて計画され、豪族近藤一族や村上家や多くの山伏たち、また伯耆の名和恵四郎泰長らとの連絡により世紀の脱出に成功して建武の中

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

修学旅行の在り方を考える上で大切な三つ目は、生徒の自主的・実践的な活動を助長し、生徒との信頼関係を築くことが大切であるという認識を新たにしていきたい。

三年として、特別活動の精選に関連し、これまで作成する過程で集団活動の結論として、修学旅行が精選できる学校行事ではないかと、興を成功させたのである。隠岐の両島は大山とも国立公園であり、日本海山である別府を選び、監視のために山を、隠岐判官の左々木家が守り、海は見付島があつて常に警戒していたと言われる。

天皇の脱出は、一か年掛つて計画され、豪族近藤一族や村上家や多くの山伏たち、また伯耆の名和恵四郎泰長らとの連絡により世紀の脱出に成功して建武の中

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

修学旅行の在り方を考える上で大切な三つ目は、生徒の自主的・実践的な活動を助長し、生徒との信頼関係を築くことが大切であるという認識を新たにしていきたい。

三年として、特別活動の精選に関連し、これまで作成する過程で集団活動の結論として、修学旅行が精選できる学校行事ではないかと、興を成功させたのである。隠岐の両島は大山とも国立公園であり、日本海山である別府を選び、監視のために山を、隠岐判官の左々木家が守り、海は見付島があつて常に警戒していたと言われる。

天皇の脱出は、一か年掛つて計画され、豪族近藤一族や村上家や多くの山伏たち、また伯耆の名和恵四郎泰長らとの連絡により世紀の脱出に成功して建武の中

を信じている。それは天皇は常に都に帰り討幕を考えていたので、島根に近い

と、実施の過程で目標の違いが目指して互いに協力し、助け合うことを通して、修学旅行は望ましい集団活動や人間関係の育成に資する教育活動となる。先生方の中には、確かに理想的にはそうであって、なかなかそうした活動となり得ない悩みを持たれる方もいるかと思う。しかし、生徒は修学旅行に強い期待を抱いている。その期待の中に、既に望ましい集団活動としての修学旅行を計画し実施する、そのために努力する強い動機が内在している。そしてまた、その強い期待は、協力しあ

る。生徒の豊かな感動体験こそが、自分の現在や将来の生き方を考える契機となる。その意味でも、修学旅行は人間としての生き方の教育に深くかかわる教育活動である。

SPACE WORLD

地球に生まれた宇宙。

宇・宙・体・験

〈スペースワールドは21世紀の校外学習環境〉

(株)スペースワールド

インフォメーションセンター TEL093-672-3600 予約センター 0120-340020

本社 〒605 北九州市八幡東区枝光本町8-1

座禅体験で

“心、リフレッシュ!!”

清潔、安全、快適、安心のお宿

本館	17室	194帖	120人
比叡	28室	260帖	200人
北嶺	15室	160帖	130人
計	60室	614帖	450人

〈国際観光旅館〉

比叡山 延暦寺会館

TEL 0775-78-0047・0554

TELEX 5464-917

FAX 0775-79-5053

—修学旅行の楽しいお食事—

箱根彫刻の森美術館内

レストラン コンポート

◇500名様迄、ご利用いただけます。

◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。

〒250-04 神奈川県足柄下郡箱根町 二の平1121

☎0460(2)1141(代表)